

1～3月 **せん定**^{てい}



りんごの実に十分な光がとどくよう、枝を切って木の形を整えます。

10～11月 **しゅうかく**^{しゅう} **収穫**



待ちに待った収穫作業です。まっかに色づいておいしくなったりんごを、1つ1つていねいに収穫します。

8～9月 **はづみ・たまわし**^{はづみ}



りんごの実全体に太陽の光があたるように、上にある葉をつみ取り^{しゅく}ます。これで十分に色づき、全体に熟しておいしいりんごになります。

葉つみの後、実のうらと表を1つずつ回し、全体に太陽の光があたるようにします。

4～5月 **じゅふん**^{じゅふん} **受粉**

りんごの花がさいてから、散るまでの3日間に、花の花粉を別の花につけ、実がなるようにします。

いろいろな作業があって、大変そう。

4～5月 **てきか**^{てきか} **摘花**

たくさんさいた花の中から、よい果実になる花を残し、その他の花は、手でつまみ取ります。



6～7月 **てきか**^{てきか} **摘果**



摘花しきれなかったところにできた実を、つまみ取ります。さらに、変形したり、きずついたりした果実をつみ、収穫するりんごを残します。

くだものつくりについて聞いてみよう

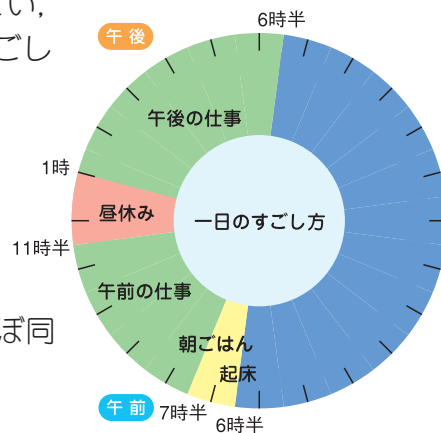


1日のすごし方を
教えてください。



中澤さん

夏はだいたい、
このようなすごし
方です。



▲病気や害虫からくだものを守るための作業。スピードスプレーヤーで、薬剤をまく。(写真では水をまいている)



なかざわ
中澤さんと
こだい
小平さんに
聞いてみよう！



小平さん

わたしもほぼ同
じです。



いちばん大変な
仕事は何ですか？



▲摘花の作業。中心の花を残して、まわりの花を手でつみとっていく。



小平さん

りんごの場合、摘花^{てきか}
という作業がとても大変で
す。りんごの木1本につ
き、7500ほどの花をつ
みとります。こうすると、残っ
たところにできる実に栄養が行
きわたり、おいしいりんごがで
きあがります。



中澤さん

摘果^{てきか}ですね。1本の木
からは、約500このみか
んがとれますが、そのお
よそ3倍にあたる1500こ
ほどの実を、摘果します。暑い
夏の時期に、畑じゅうのみかん
の実をひとつずつもいでいくの
は、とても根気のいる作業なん
ですよ。

がんばったぶん
成果があがる
みかんづくりは
楽しいよ！



● 中澤さん ●